2026年（令和8年）6月定例会　一般質問

地域防災のあり方及びリーディングプロジェクト「ピースフル」について

質問議員：前田智永 議員（議席番号11番・会派 未来の種）

◆ 大綱１：地域防災のあり方について

【議長】

ただいまより一般質問を行います。11番、前田智永議員。

【前田智永 議員】

皆さんおはようございます。11番、未来の種の前田智永でございます。本日は2つの大綱について質問をさせていただきます。

まず大綱1、地域防災のあり方についてであります。

本市では、令和2年の豪雨災害以降、防災体制の整備に継続的に取り組んでいただいております。自主防災組織の強化、避難所へのタブレット配備など、着実な進歩を感じておりますが、課題もあると感じています。

まず1点目、女性消防団員・機能別団員等の組織体制づくりについてお聞きします。令和8年4月1日時点の消防団員数は1376名と承知しています。そのうち女性団員はわずか4名、率にして約0.3%にとどまっています。国の「女性版骨太の方針2025」では女性消防団員の割合を「当面5%」にするという目標が掲げられており、本市は大幅に下回っています。

市民と語る会などで、地域の方々から「女性が参加しやすい消防団のあり方を考えてほしい」「機能別消防団員制度を整備してほしい」という声を複数いただいております。長野県松本市では、令和7年3月に平成13年から運営してきた女性消防団部を廃止し、性別・年齢を問わず誰でも参加できる「支援隊」に転換されています。このような先進事例を参考に、本市においても女性や多様な人材が活躍できる消防団の組織体制を構築するべきと考えます。市長のご見解をお伺いします。

2点目として、防災士ネットワークの構築についてです。現在、市内の防災士は105名が資格を取得しており、増加傾向にあります。しかし、資格を取得した後に地域で活かせていないという声も多くあります。高野地域では今年度、各自治会に防災士を1人以上配置した意見交換会を実施されたとお聞きしています。これを他の地域にも展開し、防災士・自主防災組織・民生委員が連携するネットワークを構築することが急務と考えます。いかがでしょうか。

【八谷恭介市長】

前田議員のご質問にお答えします。

まず、女性消防団員・機能別団員についてです。昨年より「団員ファースト」を掲げ、消防団幹部の方々と組織体系の見直しについて協議を続けているところでございます。機能別消防団員を含む多様な形態は選択肢の一つとして認識しておりますが、役割分担や運用のあり方によっては、組織全体に影響が出る場合もあり、慎重な検討が必要と考えております。

松本市の「支援隊」への転換は興味深い取り組みと認識しています。引き続き消防団幹部との協議を進め、性別を問わず多様な人材が活躍できる消防団の環境作りに努めてまいります。

防災士のネットワーク構築については、市内105名の防災士は地域防災力の向上にとって大変心強い存在です。高野地域での意見交換会では、備蓄品の共有方法、有事の際の行動確認、防災計画の進捗共有ができ、大変有意義な取り組みだったと認識しています。この取り組みを継続しながら、他の地域への展開についても検討を進めてまいります。

【危機管理課長】
女性消防団・機能別消防団員について補足申し上げます。

機能別消防団員制度の導入は、検討の価値があると認識しています。一方で、他の自治体では「訓練が不要の機能別団員への応募が増え、基本団員の応募が困難になった」という事例も出ております。

現在は競技方式の訓練や旧態依然の慣例行事の見直しを進め、消防団のイメージ改善を通じた入団促進を図っているところです。機能別制度の整備と入団促進を並行して検討してまいります。

防災士ネットワークについては、高野地域の取り組みを先行事例として継続し、他地域への展開方法を研究してまいります。個人情報の壁についても、防災情報の共有という観点から整理が必要な課題と認識しております。

【前田智永 議員】
ありがとうございます。女性消防団・機能別団員については、基本団員の使命と誇りを大切にしながら、補完的な形での整備を進めていただきますようお願いいたします。

防災士ネットワークについては、高野モデルを全市に展開していただけるよう強く期待しています。資格を取ったまま活動できていない防災士の方々が、地域の実践的な防災に関われる場を作っていただきたいと思います。

また、市民と語る会でいただいた声として、廃校舎・跡地を避難所や防災拠点として活用してほしいという声、地域マネージャーが防災にも関わってほしいという声もございました。縦割りを超えた取り組みの推進をお願いして、大綱2に移ります。

【八谷恭介市長】
ご意見ありがとうございます。廃校舎の防災拠点活用や地域マネージャーの防災参画についても、関係部局と連携して検討してまいります。地域防災は行政だけでなく地域の皆さんとの協働で進めるものと考えており、今後もご意見をいただきながら取り組んでまいります。

◆ 大綱２：リーディングプロジェクト「ピースフル」について

【前田智永 議員】
大綱2は、リーディングプロジェクト「ピースフル」、特にコンパクトプラスネットワークについてお聞きします。

このプロジェクトは、医療・福祉・教育・移住定住・産業振興と直結する、本市の将来像の根幹を成すもの

だと認識しています。令和8年度よりプロジェクトチームが始動して約2ヶ月が経過しましたが、今後のスケジュールや意思決定のプロセスが市民からは見えにくい状況にあります。

特に高野地域・総領地域は、住民の皆さんが何年もかけて、ワークショップを何度も重ね、コンサルへの依頼も行いながら、地域の将来ビジョンを策定し、市に要望書として提出してきました。この地域の汗が「何だったのか」ということにならないよう、先行するビジョンをしっかり活かした形で具体化を進めていただきたいと思います。

具体的にお聞きします。現在のプロジェクトチームの体制・議論の状況と、今後地域に出向くスケジュールはいかがでしょうか。また、高野・総領のビジョンはゼロから議論し直すのか、続きを進めるのか、明確にお答えください。

【八谷恭介市長】
前田議員のご質問にお答えします。

コンパクトプラスネットワークは、本市が今後の人口減少・少子高齢化社会の中で、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる持続可能なまちの構造を実現するための核心的なプロジェクトです。

高野・総領のビジョンについては、住民の皆さんが長年にわたって取り組んでこられた成果を、市としても高く評価しております。今後進めるプロジェクトの「モデル地域」となるものとして位置づけており、このビジョンを生かした形で、行政・地域・事業者の役割分担を明確にしながら持続可能なまちの実現に取り組んでまいります。

【経営戦略課長】
プロジェクトチームの状況と今後の進め方についてご説明します。

令和8年度に庁内横断のプロジェクトチームを設置し、今後の進め方・スケジュールについて協議を進めているところでございます。プロジェクトの目的は「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる持続可能なまちへの構造転換」です。

高野・総領の先行ビジョンについては、ゼロから議論し直すのではなく、「先行したビジョンを生かした形で住民との話し合いの場に入っていく」という方針です。既存のビジョンをベースに、行政・民間・住民の役割分担を明確化しながら具体化するプロセスを踏んでまいります。ビジョンに磨きをかけ、さらに発展させていくという認識でございます。

【前田智永 議員】
ありがとうございます。「ビジョンを生かす」という方針を明確にしていただいたことは重要な確認となりました。地域の皆さんにもぜひ伝えたいと思います。

スケジュールについて重ねてお聞きします。今年度全地域を回るとのことですが、コンサルと地域を訪問する時期は具体的にいつ頃になりますか。7〜8月の市政懇談会ではブランディングの説明をされると伺っていますが、コンパクトについても意見交換できますか。また、地域を一番知っている支所が中心的な役割を担うべきと考えますが、いかがでしょうか。

【建設部長】

コンサルとの地域訪問のスケジュールについてお答えします。現在委託業者の選定を進めており、業者が決まり次第、市職員と一緒に各地域を訪問する予定です。7〜8月の市政懇談会の時期にはならない見込みで、それより後になる予定でございます。支所との連携については、地域の実情をよく知る支所職員が関わることは重要と認識しております。

【地域政策部長】
今年度の全地域訪問の方針についてご説明します。

今年度は全地域に対して、基本的な想定する姿（中心市街地・支所周辺などの拠点）を示し、ワークショップ形式で意見交換を行う予定です。7〜8月の市政懇談会においても、コンパクトプラスネットワークについて説明し意見交換を行うことは可能です。ブランディングとあわせて説明できればと考えております。

高野・総領については、既存のビジョンを土台に行政・民間・住民の役割分担を明確化し、実現に向けた伴走支援を行ってまいります。地域の皆さんが積み重ねてこられた取り組みに敬意を表しながら、ともに前に進んでまいります。

【前田智永 議員】
ありがとうございます。地域の汗を無駄にしないよう、そしてこのプロジェクトが庄原市の未来を本当に開くものとなるよう、強く期待しています。

全職員が自分ごととしてこのプロジェクトに取り組み、地域の皆さんとともに持続可能なまちをつくっていただきますようお願い申し上げ、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

【議長】
前田智永議員の一般質問が終わりました。